

新たな船舶検査・測度制度の構築に向けた試行検証(トライアル)

社会全体のデジタル化が急速に進展している状況下、
 受検者がそのメリットを最大限享受出来るよう、新たな船舶検査・測度制度を構築する必要がある

検討テーマ

① 遠隔技術等の新技術を活用した検査・測度

革新的な新技術によって船舶検査・測度の安全性、効率性の向上とともに、品質を向上できないか

② IoTデータ・画像を活用した検査・測度

受検者が有するデータを、船舶検査・測度に活かさないか

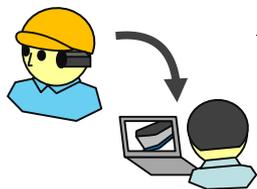
③ 電子証書の導入・事務手続の電子化

申請書類や証書の電子化を進められるのではないか

検討の一環として、
**10月9日(火)、横浜において
 トライアルを実施**

実施概要

○ 実施項目



遠隔検査 (テーマ①関連)

模擬的に造船所と事務所を回線でつなぎ、
 遠隔から船体外観の確認を実施
 (画像・音声等で判断できる効力試験等
 での活用を想定)



ドローン活用検査 (テーマ①関連)

ドローンを用い、高所に設置されている
 航海灯等の状況の確認を実施
 (PSC、航海用具の検査等での活用を想定)



3Dレーザー測定 (テーマ②関連)

3Dレーザー測定器を用い、船舶のトン数
 のための計測を実施
 (測度の簡素化への活用を想定)

○ **実施日時** 10月9日(火) ※小雨の場合でも、可能な範囲で実施予定

○ **実施場所** 三菱重工業株式会社横浜製作所本牧工場

○ 実施船舶

船 名：清龍丸 (大型浚渫兼油回収船)

船舶所有者：国土交通省 (中部地方整備局名古屋港湾事務所所属)

全 長：104m

総 ト ン 数：4,792GT



○ **協 力** 三菱造船株式会社、一般財団法人日本海事協会、
 三菱重工業株式会社、株式会社日立システムズ